

東洋学研究情報センター運営委員会議事要旨

日 時 平成23年2月16日(水) 13:00～14:30

場 所 東洋文化研究所大会議室

出席者 柳澤委員長、園田、名和、大木、加藤、小長谷、水野、宮治、宮嶋 各委員
羽田センター長

欠席者 小松、村田委員

オブザーバー 榎屋、丘山、板倉、廣田、小寺、松田(訓)
各東洋学研究情報センター委員
武田事務長、渡辺専門員、押木係長

議事に先立ち、園田副センター長から、司会を務めさせていただきたい旨発言があった。また、新たに運営委員となった名和委員の自己紹介が行われた。

まず、羽田センター長から開会の挨拶が行われ、園田副センター長から配付資料の確認が行われた。

(以後、司会進行役は柳澤委員長が行うこととなった。)

柳澤委員長から前回の議事要旨は議事終了後に確認させていただきたい旨発言があった。

(議事)

1 平成23年度公募プロジェクトの審査について

柳澤委員長から、配付資料に基づき説明があり、その後、概ね次のような意見交換がなされた。

○ 採択を決めるにあたり、採択の件数はどうすべきか。

(採択の件数を前提として予算を組んでいないので、応募件数5件全部を採択しても構わないし、全部不採択もあり得ると考えている。)

○ 募集要項の申請書のフォーマット、特に2年目の申請の際には、1年目のコピーを防止することや、1年目の実施状況によっては、継続は保証しない等の文言を反映させるべきではないか。

(上記を反映させた申請書のフォーマットについて、次回の運営委員会で検討する。)

○ 評価の方法について、申請書の項目毎の評価だけでなく、総合的な評価を加えるべきで、A・B・Cのポイント制や評価内容も含め現在の評価表を見直すべきではないか。

(上記を反映させた評価表を、次回の運営委員会で検討する。)

次いで、柳澤委員長から次のような提案があり、承認された。

申請No.2、3、4、5を採択し、申請No.4については、研究経過をより具体的に報告するという条件をつけて、追加報告を求めることとする。

2 平成22年度予算について

園田委員から、配付資料に基づき説明があった。

3 平成23年度事業について

園田委員から、配付資料に基づき、事業の概要について説明があり、その後、概ね次のような意見交換がなされた。

- 公募プロジェクトの予算を決めるにあたり、採択の件数により、プロジェクト事業費の中で調整しているのか。

(採択の件数が少なかったら、公募プロジェクトの予算は、機関推進プロジェクトの予算に組み込まれる。採択の件数が多くなればなるほど、他の経費から持ち出されることになる。)

- 機関推進プロジェクト採択一覧のNo.6とNo.7はアジア美術のアーカイブだか、違いは何か。

(No.6については、世界じゅうにあるアジア美術の画像を集めるというもの、No.7については、かつて集めたものをデジタル化していくというプロジェクトである。)

4 次回運営委員会の開催日程について

園田委員から、配付資料に基づき、概ね次ぎのような説明があり、了承された。

来年度第1回の運営委員会を6月に開催する予定であり、議題としては、平成22年度の事業報告、平成24年度共同研究課題実施要項及び共同研究応募課題の審査方法の承認を予定している。

また、平成24年度の公募プロジェクト事業については、平成23年11月1日から12月22日の予定で募集を行い、1月に審査をお願いし、2月に本委員会を開催することを予定している。

次いで、前回の運営委員会の議事録が承認された。

最後に、羽田所長から閉会の挨拶があった。

以上